

I はじめに

PUBLIC WORKS in TOYAMA

富山県は、明治16年に石川県から分県・誕生して以来、今年で142年を迎えました。私たちの先達は、この分県を契機として治水事業や砂防事業を積極的に進めるとともに、道路や港湾など様々な施設を整えてきました。このように土木の仕事を不断に積み重ねてきた結果、現在では全国トップレベルの「住みよい県」という評価をいただいております。

この冊子は今、「とやまの土木」はどんなことをしているのかをご紹介しますものです。本冊子を通して、わたしたちの行う土木の仕事をご理解いただければ幸いです。

1 富山県の概要

1 自然

富山県は、本州日本海側のほぼ中央部に位置し、東西90km、南北76km、面積は約4,247km²で、国土の約1%を占めています。

蝶々が羽を開いたような形で、山と海に囲まれたまとまりのよい県土です。3,000m級の山々が連なる立山連峰と、ここに源を発する黒部川、早月川、常願寺川などの急流河川、その下流には、緑に包まれた扇状地平野、日本海側最大の外洋性湾で海底谷が発達した水深1,000mを超える富山湾に至るまで、高低差4,000mのダイナミックで変化に富んだ地形を有しています。

さらに県東部では、常願寺川流域の立山カルデラや弥陀ヶ原、地獄谷、五色が原などからなる弥陀ヶ原火山があり、県西部にも白山火山が隣接しています。



2 人口

富山県の人口は、989,474人（R7.4.1現在）です。これは、面積と同じく全国の約1%です。人口が100万人台に達したのは昭和25年の国勢調査からで、その後、全7国的な大都市への人口流出や出生数の漸減により、平成11年から人口は緩やかな減少傾向をたどっています。

2 土木部の基本方針

「活力あふれる地域づくり」、「美しい県土づくり」、「安全・安心な暮らしづくり」を政策の柱とし、その実現を下支えするための重要政策として「地域を支える建設業の振興」を位置付け、良質な社会資本の整備を進めます。

活力あふれる地域づくり

令和8年度を目標とする指標

【高速道路、幹線道路から生活道路までの道路ネットワークの整備】

- 東海北陸自動車道の飛騨清見IC～小矢部砺波JCT間の4車線化整備延長
現状値 令和5年度 14.7km

目標値 14.7km(中間目標値)から増加させる

【国際拠点港湾としての伏木富山港の機能強化】

- 伏木富山港の外貿コンテナ取扱個数
現状値 令和6年 68,150TEU
目標値 110,000TEU

美しい県土づくり

令和8年度を目標とする指標

【地域の個性を活かした景観づくり】

- 景観づくり住民協定の締結件数(累計)
現状値 平成30年度 14地区

目標値 17地区

- 良好な景観形成や防災機能の向上が
必要な道路の無電柱化整備延長
現状値 令和5年度 49.73km

目標値 51.4km

安全・安心な暮らしづくり

令和8年度を目標とする指標

【安全・安心で豊かな住環境づくり】

- 住宅の耐震化率
現状値 令和5年度 84%

目標値 91%

【防災・減災、災害に強い県土づくり】

- 土砂災害警戒区域のうち重要整備区域
現状値 令和6年度 762箇所

目標値 767箇所

地域を支える建設業の振興

〈労働環境の改善〉

〈建設企業への支援〉

〈建設業の魅力発信〉

3 富山県内の主要事業

凡 例			
道 路 事 業	●	都 市 計 画 事 業	●
河 川 事 業	●	そ の 他 事 業	●
砂 防 事 業	●	高 速 道 路	==
港 湾 事 業	●	北 陸 新 幹 線	—
海 岸 事 業	●	国 道	—



道路
2

(主) 高岡環状線
高架橋の整備
(高岡市上伏間江～石塚)



安全で円滑な交通のため、高架化整備を進めています！

海岸
6

魚津港海岸
海岸護岸の改良
(魚津市諏訪町～本町)



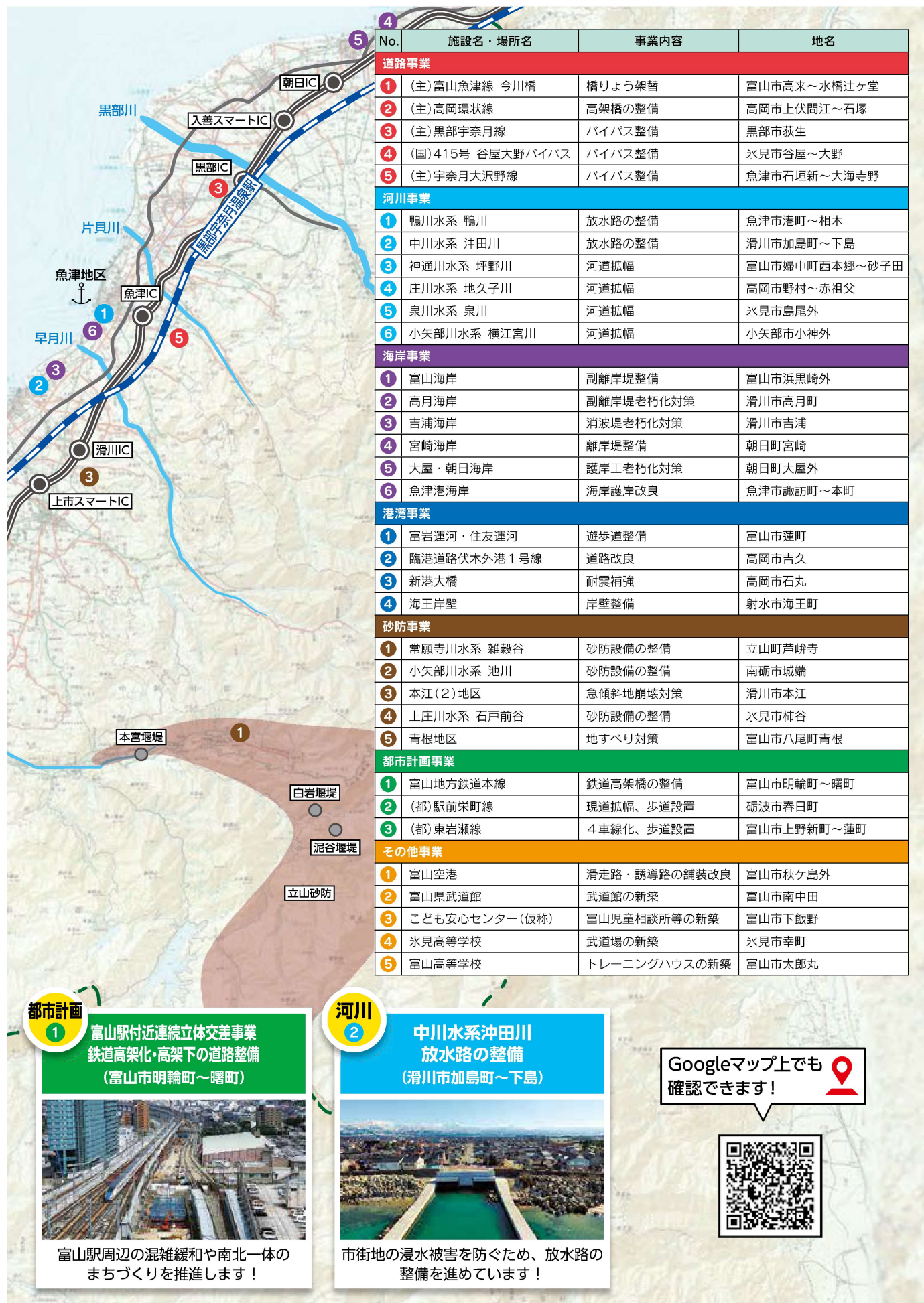
高波による住宅等の被害を防ぐため、護岸の改良を進めています！

砂防
1

常願寺川水系 雑穀谷
砂防設備の整備
(立山町芦峯寺)



土砂災害を防ぐため、砂防堰堤の整備を進めています！



4 令和7年のトピックス

■高岡環状線(上伏間江～二塚高架橋)高架化(暫定2車線)供用

かねてより高架化の整備を進めてきた県道高岡環状線(上伏間江～佐野)のうち、上伏間江～二塚高架橋区間の供用を令和7年3月23日(日)に開始しました。

南郷大橋から国道8号までの区間の平面2車線での供用以降、新高岡駅や大型商業施設等へのアクセス道路として交通量が増えたことから、二塚交差点において渋滞が発生し、主要渋滞箇所となっておりました。この区間の高架化により、二塚交差点の渋滞が緩和されるとともに、道路ネットワークの機能が向上します。引き続き、二塚高架橋～石塚区間の整備を進めてまいります。



高岡環状線(上伏間江～二塚高架橋)

■川崎橋・高善寺橋開通

かねてより架け替え事業を進めていた、県道安居福野線の川崎橋が令和6年7月に、県道立山山田線の高善寺橋が同年9月に、それぞれ開通しました。いずれの路線も、地域の重要な生活道路ですが、元の橋は老朽化が著しく、車道の幅も狭いため大型車のすれ違いが困難な状況でした。

新しい橋の開通により、災害に強く安全な道路ネットワークが確保され、周辺地域のさらなる発展、活性化に寄与するものと期待されます。



川崎橋開通式

■とやま河川メールはじめました!

とやま河川メールは、富山県が管理する河川の水位やダムの貯水位が基準値を超えた場合に、登録された方へスマートフォンやパソコン、携帯電話にメールを配信するサービスで、令和6年6月から運用を開始しました。

洪水時における避難行動や水防団の水防活動などにご活用いただけます。



とやま河川メールのチラシ

■伏木富山港(新湊地区)中央ふ頭の大水深化岸壁供用開始

伏木富山港(新湊地区)の中央ふ頭は、背後に多くの工場等が立地し、燃料や原材料となる木材チップや石油コークス等のバルク貨物の取扱拠点として、富山県内だけでなく、隣県を含めた地域の基幹産業を支える重要な役割を担っています。

令和6年5月に北陸地域で最大規模となる水深14m、連続560m岸壁が供用開始し、大型貨物船の2隻同時接岸が可能となりました。迅速で効率的な荷役作業の実現で港湾機能が大きく向上しており、伏木富山港全体のさらなる利用促進が期待されます。



伏木富山港(新湊地区)中央ふ頭に接岸した大型木材チップ船

■砂防フェア2024

県では、土砂災害から人命を守るため「土砂災害防止月間」と定められた6月に国土交通省の立山砂防事務所、黒部河川事務所、神通川水系砂防事務所、富山市、立山カルデラ砂防博物館とともに、県民に土砂災害に対する防災意識を高めていただくための啓発活動として砂防フェアを実施しています。令和6年度は、総曲輪グランドプラザにおいて6月8日(土)に行いました。

様々なステージイベント、工作および実験コーナーなど、楽しく学べるイベントに多くの人が足をとめフェアに来場いただきました。



ステージイベントの様様

■令和6年能登半島地震被災住宅の復旧のための支援制度創設

令和6年1月1日に発災した能登半島地震により、県内でも多くの住宅が被災しました。また、この地震では地盤の液状化が広く発生し、宅地にも大きな被害が生じました。

これらの復旧を支援するため、令和6年度に被災住宅耐震改修支援制度、宅地液状化等復旧支援制度、自宅再建利子助成制度を新たに創設しました。

また、令和7年度からは被災住宅を含む耐震改修支援制度の補助上限額の引上げや耐震シェルター設置支援制度の創設も行い、より安全な住環境の実現に向けて取り組んでいます。



木造住宅の耐震改修工事